特定非営利活動法人 ゆに

情報を保障するために

課題

「とりあえず情報保障を行う」こと、「情報を保障する」ことは似ているようで違います。情報保障者が目指すべきところは「情報を保障する」ことです。
聴こえたことを文字で伝える（≠文字にする）。そのためには、対象分野の基礎知識、通訳のテクニック、入力のスキル等が必要です。
ゆには各大学の情報保障の質をよりよくする活動をおこなっています。

聴こえたことを書く
聴こえたことを打つ
▶ **情報保障**

【ポイント例】表記の使い分け

母は歯は丈夫です　（意味と表記）
ははは、はは、じょうぶです　（表記）
ハハ＿ワ＿ハ＿ワ＿ジョウブ＿デス　（音）
発音を伝える場合と、意味を伝える場合と適切な表記はどちらでしょうか？

【ポイント例】意味の把握

主要語の脱落（意外と気付かない）

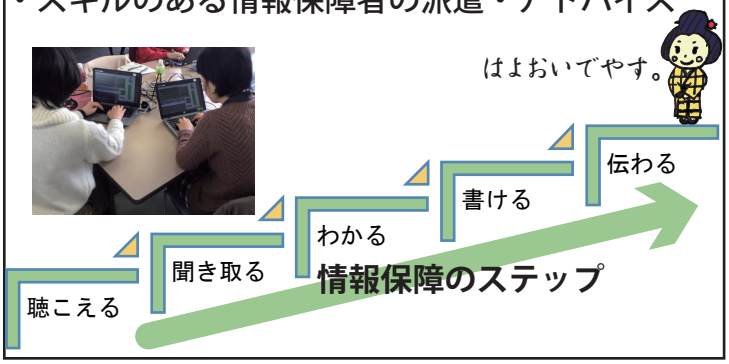
正：1000 件の建物の看板を撤去しました。
（目的語）

誤：1000 軒の建物を撤去しました。

間違った語句はなくても、結果的に全く違う意味になってしまう。

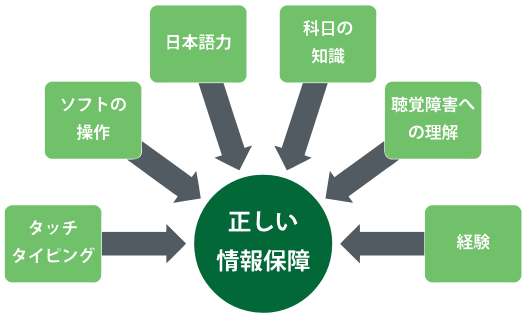
活動内容

- テイク講座の定期開催（無料）
  参加者のレベルや担当授業に合わせた練習
  学内テイカー登録の条件としても活用
  （学内講座かどちらかの受講が必須）
- 各大学での要望に応じた講座開催
  大学の現状に合ったスキルアップ講習や相談会
- スキルのある情報保障者の派遣・アドバイス



まとめ

情報保障のゴールは「書くこと・打ち込むこと・表示することで」はなく、聴こえていればわかるはずの「情報が伝わる」こと。
必要なスキルや情報を大学や学生と共有していくことで、どの大学でも質の高い情報保障を受けられる環境づくりをお手伝いしています。



ゆに とは

代表 佐藤謙

”ゆに”とは、大学で (University) 誰もが (Universal) 同じように学べるようにするためのユニーク (Unique) な組織 (Unity) といった意味をこめた名前で、障害学生支援を専門とする NPO 法人です。代表の佐藤（筋ジストロフィ当事者）や周囲のサポーターの障害学生支援の経験から生まれました。大学間でのサポーターの共有やサポーター養成、大学からの相談、障害学生からの相談受付、自宅生活の支援などを行っています。

問い合わせ先　〒603-8354　京都府京都市北区等持院西町 60-10
特定非営利活動法人ゆに 事務局 障がい学生支援担当 TEL: 075-468-1633 FAX: 075-468-1666
Mail: info@unikyoto.com Web: http://www.unikyoto.com/ Twitter: @unikyoto fb: unikyoto